

育てる楽しさ、味わう喜び

兵庫みらいの

# 野菜づくり

Basic Vegetables



果菜類・ウリ科

# キュウリ

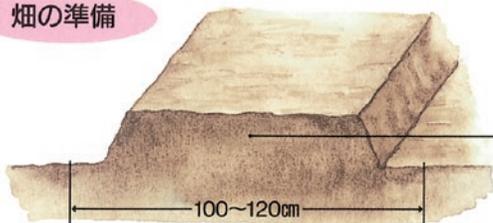
## ◆VARIETY

トンネル栽培からハウス栽培まで、作型を問わない北進、夏すずみなどが便利。夏キュウリの四葉系、地這など、昔から栽培されていた品種も見直されています。

変わり種では、病気に強く肉厚のスライス(写真)などのヨーロッパキュウリもあります。



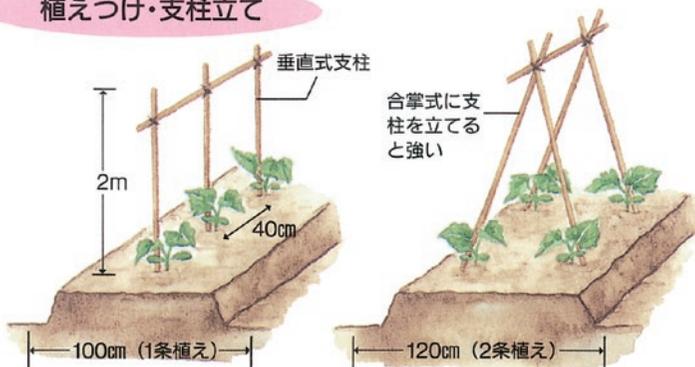
### 畑の準備



荒起こしするとき(全層に)  
セルカ150g/m<sup>2</sup>  
堆肥3kg/m<sup>2</sup>  
元肥(全層に)  
果菜ゴールデン有機  
150~200g/m<sup>2</sup>  
(N・P・K=10・6・10)  
マルチサポート1号  
40g/m<sup>2</sup>

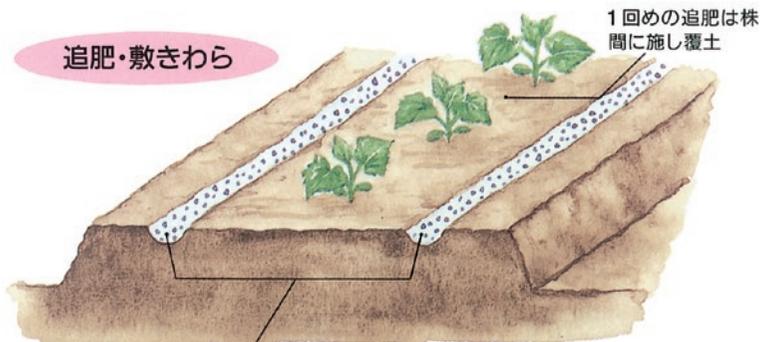
苗は少量であれば購入したほうが得。植える1週間前、耕して肥料を施す。地温を上げるためにマルチをするばあいは、植えつけ前、降雨後で畝が湿っているときに

### 植えつけ・支柱立て



植えつけ前日に植え穴を掘り、300倍液肥を施す。植えつけは晴天日に地温が上がってから。苗のポットには前日じゅうぶん水やりすると、株が抜き取りやすくなる。気温が上がらず、夜間冷え込むときは、トンネルやホットキャップをする

### 追肥・敷きわら



2、3回目の追肥は畝の肩部に溝をつけて施し、覆土

植えつけ後、半月おきに3回追肥をする。1回に1m<sup>2</sup>当たり野菜専用化成(15・15・10)40gを施す。梅雨前には株元へわらや枯れ草を敷き、泥はねを防ぐ。梅雨明け後は畝全体に敷いて、地温の上昇と乾燥を防ぐ

	早熟栽培	夏キュウリ	秋キュウリ
1月			
2月			
3月	●		
4月	▲		
5月	●	○	
6月	■	○	
7月	■	○	○
8月	■	○	○
9月	■	○	○
10月			○
11月			
12月			

●種まき ▲仮植え ●植えつけ  
■収穫 ○じかまき

### 営農指導員からの失敗しないコツ

- ・ウリ科作物との連作は避けてください。
- ・根が浅く広がるので、マルチの上に敷き藁で乾燥を防ぐのがベストです。また泥はねも防げます。
- ・葉脈と葉脈の間を塗りつぶすように、1~2cmの角ばった病斑が「べと病」、1~1.5cmほどの円形の病斑が「炭そ病」、葉の周辺部に近いところに出るのが「斑点細菌病」です。

## ◆PROFILE

ウリ科の1年生草本。原産地はインド、ヒマラヤ山麓で、日本へは10世紀ごろに中国から伝わり、春キュウリと夏キュウリが栽培されるようになりました。品種改良が進み、近年は作型

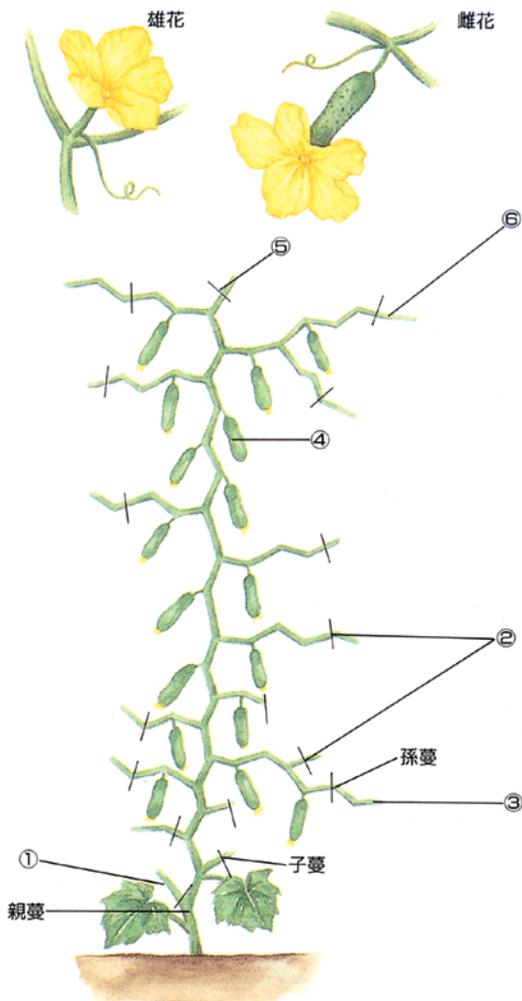
を問わない一代雑種がおもに利用されています。

ウリ科のなかでは冷涼な気候を好み、18~28℃が生育適温。寒さに弱く、10~5℃で生育が止まります。乾燥と過湿には敏感

ですが、日当たりはほかの果菜類ほど要求せず、多少日陰になっても果実は大きくなります。連作を嫌いますが、接ぎ木苗(35ページ参照)が手に入れば、連作障害を避けられます。

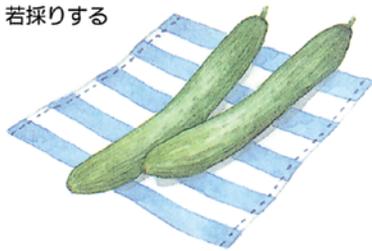
### 摘心

- ①親蔓をよく生長させるため、親蔓の株元から5、6節までに出る子蔓は早めに摘み取る
- ②親蔓に雄花の着いた節から子蔓が伸びる。1節めに雌花を着けるので、3、4節で摘心する
- ③子蔓を摘心すると孫蔓が出ることもあるが、これも3、4節で摘心
- ④親蔓に雌花の着いた節からは子蔓は出ない
- ⑤親蔓は支柱の高さまで伸びたら、摘心する
- ⑥親蔓を摘心すると上の節から子蔓が強く伸びはじめるので、早めに摘心する



### 収穫

果実の収穫は、株を弱らせないため、若採りする



## 栽培三知識



間引くときは、残す苗の根元を手で押さえておく

**じかまき苗**  
夏キュウリ、秋キュウリは根が弱いので、畑にじかまきして育てます。  
種まき 株間40cm間隔に3、4粒をまき、上から薄めに土をかけます。乾燥しないように上から切りわらなどをかけます。覆土は砂ですると、タネバエの防虫になります。  
間引き 本葉2枚ころ1か所2株に、5枚ころ1株に間引きします。  
追肥 間引き後3回、苗を植えたときと同様に施します。そのほかの作業も苗を植えたときと同じです。



農業に関するご相談・お問い合わせは、  
JA兵庫みらい 営農窓口まで。

**TEL.0790-47-1282**

8:45～17:15(土・日・祝日を除く)

---

加西営農生活センター	TEL.0790-47-1286
グリーンかさい	TEL.0790-47-1286
三木営農生活センター	TEL.0794-87-3012
グリーンみき	TEL.0794-83-5638
小野営農生活センター	TEL.0794-63-6905
グリーンおの	TEL.0794-63-7775